

一般社団法人国際介護人材育成事業団

2017年度 第2理事会議事録

日時：2017年10月14日（土）15時00分～16時00分

会場：社会福祉法人健光園 高齢者福祉総合施設「健光園あらしやま」4階会議室

(敬称略)

出席者：(理事) 金澤 剛 福本京子 小沼正昭 上野 歩 江口 幸一 小國 英夫

(監事) 松本 典丈 石原 温

参会者：(オブザーバー)

塚本 健、佐藤 健二、中島 早紀、松下 啓子、宮本 信、松本 信弘、
佐藤 和夫、佐藤 弘子、佐藤 高之、内山 省吾、加賀 しのぶ、宮脇 孝誠
大西 岩光、細井 恵美子、上埜 佳代子、村上 淳、中川 一良、中谷 悟、
橋川 修、小林 潤子、松下 和孝

配布書類：理事会の議案書（事前資料）、同（当日資料）

○招集と定足数

金澤理事長より、10月6日、定款35条1項に基づき、2017年度第2回理事会を招集したこと、又、15時現在、理事総数の過半数以上の理事6名全員が出席し、定款37条1項に基づき、本理事会は有効に成立したことが報告された。

又、理事会規則（（関係者の出席要請）第4条に基づき、上記のオブザーバーを理事会に出席させることを報告した。

その後、金澤理事長が議長に就き、開会を宣言し議事に入った。理事会の進め方として、審議事項、特別報告、一般報告の順に審議、報告することを確認した。

尚、当日は、理事会に先立ち、高齢者福祉総合施設「健光園あらしやま」の施設見学会と特別講演『健光園の歩みとこれからの社会福祉の課題』～「あすのために～脱・老人ホームの試み」を通過点として～（講演者：社会福祉法人健光園 小國 英夫理事長）が、開催された。

○審議事項

1. 第1号議案 正社員、賛助社員の入社承認の件

議長は、提案要旨の一部変更を報告し、小沼専務理事より、理事会の議案書（当日資料）に基づき、第1号議案の提案要旨等を説明させ、質疑の後、議場に諮ったところ 全員異議なく賛成、可決された。新たな入社団体、個人は、以下の通り。

◇正社員（団体） 社会福祉法人ファミリー（理事長 佐藤 弘子）

◇正社員（個人） 宮脇 昭太郎（社会福祉法人浩照会 事務局長）

◇賛助社員（団体） 社会福祉法人京都南山城会（理事長 三上 勝利）

2. 特別報告

- ・議長は、理事会の議案書（事前資料）に基づき、小沼専務理事より、「ミャンマーにおける入国前講習と入国後の講習について」を報告させ、質疑を行った。
- 2 月スタディツアーの位置づけと介護導入講習との性格の違い、この募集方法について、質問があった。

3. 一般報告

議長は、理事会の議案書（事前資料）に基づき、小沼専務理事より、一括して報告事項を説明させ、9月30日現在の貸借対照表並びに4～9月末の期間損益計算書等を確認した。

又、理事会議案書（当日資料）に基づき、10月13日、外国人技能実習機構主催の「介護職種を追加する東京説明会」の報告と、同じく当日配布の「介護技能実習制度の概要と今後の進め方について」に基づき、9月29日に、厚労省から告示、解釈通知された、技能実習「介護」における固有要件について、説明があり、質疑を行った。

介護業務の基礎、素養を求める、前職要件が介護技能実習生の要件として加えられた背景、意義、を積極的に捉えて、中国、ミャンマーにおいてこれらの要件整備のチャンスに繋げることの大切さが指摘され、逆に、他職種の実態との兼ね合いで、この要件が薄められることへの懸念も頂いた。又、実習や就業が入所型施設に限定されているが、むしろ、在宅型も組み入れる考え方は示されなかったのか、予想される入国までのタイムスケジュール等に関して、意見や質問があった。

又、当日資料として、介護職外国人技能実習生の入国講習『介護の基本Ⅰ』と中国江蘇頤養天介護技能実習センターの第2期募集案内が配布された。

最後に、年明け1月27日の第3回理事会を、熊本で開催することを確認し、開催場所は、地元の社会福祉法人陽光、社会福祉法人寿量会、社会福祉法人三顧会に一任することを確認した。

議長は、以上をもって、議事審議を終了し、16時に閉会を宣言して散会した。

以上、相違ありません。

2017年10月14日

一般社団法人 国際介護人材育成事業団

代表理事 金澤 剛

理事 福本 京子

理事 小沼 正昭

理事 上野 歩

理事 江口 幸一

理事 小國 英夫

監事 石原 温

監事 松本 典丈